

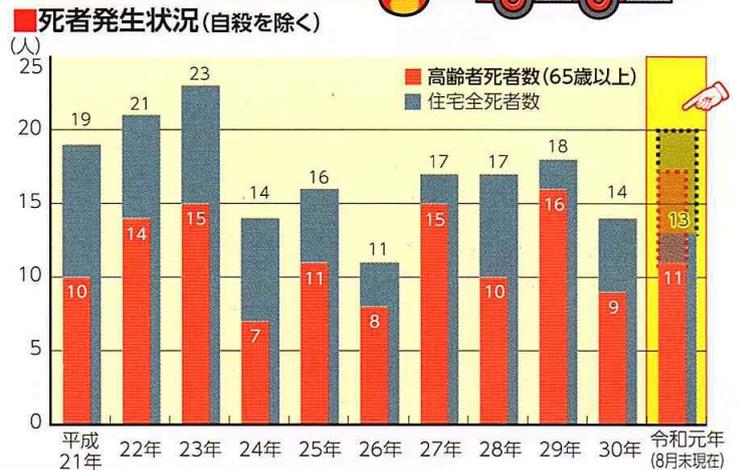
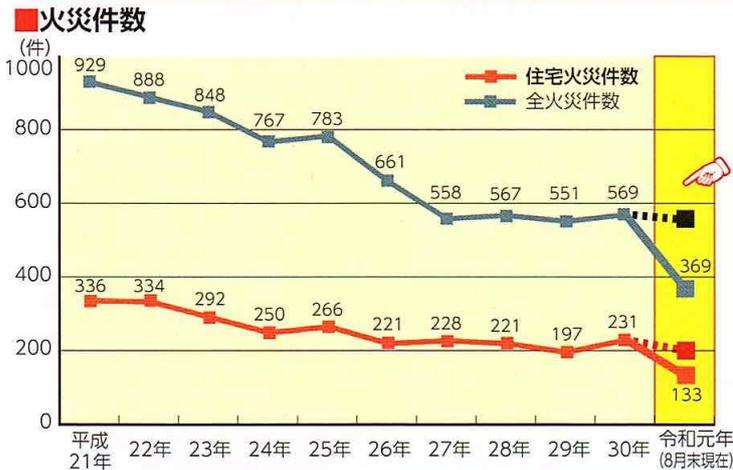
緊急

火災による死者が増えています!



名古屋市内で住宅火災により亡くなった方が13人となっています。
(平成31年1月～令和元年8月まで)

火災件数と死者発生状況(過去10年間)



※-----線部分は、令和元年8月末までの数字から予想した令和元年中の結果です。

過去10年の統計では、建物火災のうち、住宅火災での死者は170人となっています。そのうち65歳以上の高齢者は115人(67.6%)ということから、約7割近くが高齢者という結果になっています。

火災を起こさない3つのポイント



発見を早くしましょう!

逃げ遅れを防ぐために、「住宅用火災警報器」を設置しましょう。



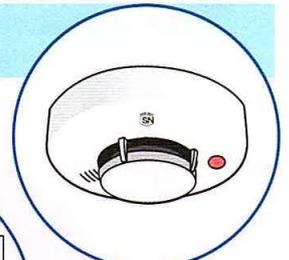
燃え広がりを防ぎましょう!

カーテンを防災物品(燃えにくいもの)にしたり、寝具を防災製品にしましょう。



火災の原因をなくしましょう!

暖房器具やコンロ等の調理器具を安全装置付きのものにしましょう。喫煙者の方は吸殻の管理をきちんと行い、寝たばこはしないようにしましょう。



住宅用火災警報器



防災物品ラベル



防災製品ラベル

住宅用火災警報器 を設置・点検しましょう!

点検も
忘れずに



『住宅用火災警報器』の 奏功事例

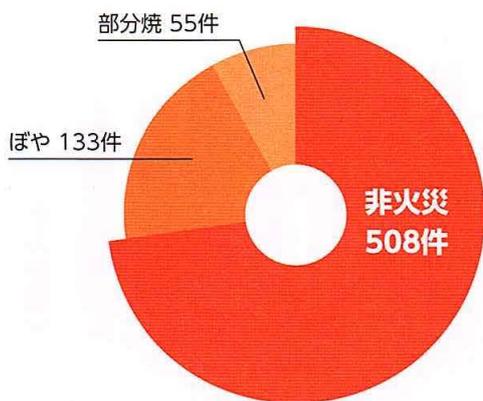
平成18年2月1日から令和元年8月31日まで

名古屋市内で **696件**

奏功事例とは、住宅用火災警報器の鳴動音等により火災が早く発見でき、初期消火、早めの避難等につながったことで、被害がなかったり、軽減できた事例です。

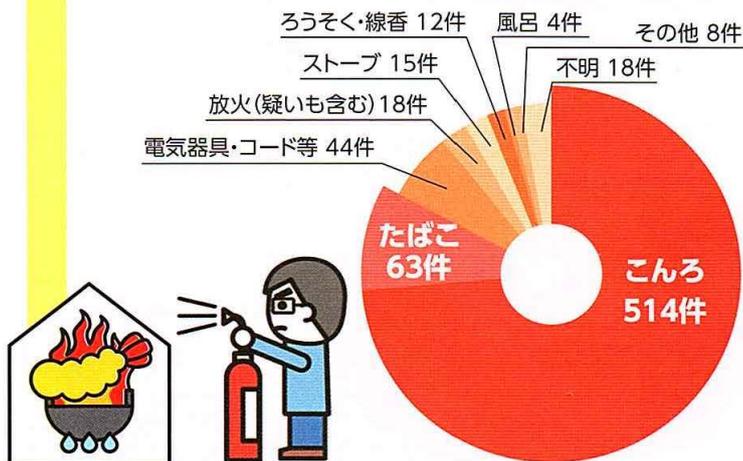
どのくらい効果があったの?

火災にならなかったところが
508件ありました。



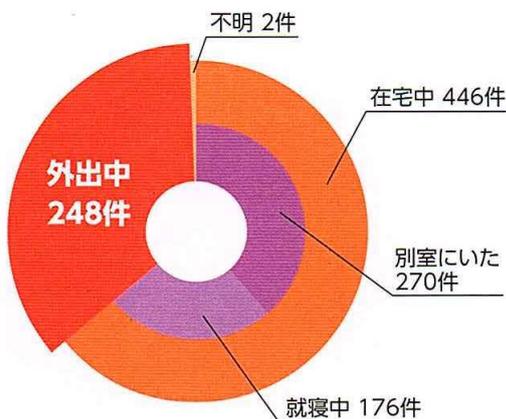
どんな火災に気付いてくれたの?

こんろが**514件**、たばこは**63件**ありました。



警報音が鳴動したときは何をしていたの?

外出中だった場合が**248件**ありました。



誰が警報音に気付いたの?

近隣の人が気付いた奏功事例が
405件ありました。

